

02—L—1

(漢字、表記・文法)

こくご 国語 (I)

No.

これは どのくらい ^{こくご}国語について ^{べんきょう}べんきょうしたのかを ^{しらべる}しらべる
テストです。 ^{ねん}1年から ^{ねん}6年までの ^{もんだい}問題が ^{かかれています}かかれています。 ^{ねん}1年の ^{もんだい}問題
^{だい}題からはじめましょう。

(ちゅうい)

- 1、どの ^{もんだい}問題も よく ^{かんがえて}かんがえて やりましょう。
- 2、わからない ^{もんだい}問題には ? をつけて とばして つぎの ^{もんだい}問題をやりま
しょう。
- 3、5～6 ^{ねんせい}ねんせいは ^{かいどうようし}こたえを解答用紙にかきましょう。

小学校

学年

クラス

出席番号

性別

1. 男

2. 女

(○をつけてください)

一／＼二ねんのもんだい

1

せんせいが ぶんをよみますので つぎのえで あらわされ
ていることばを ぜんぶひらがなで () にかきましょう。

(五／＼六ねんせいはい 解答用紙の(あ)(ち)のらんに ひらがなでかきましょう)

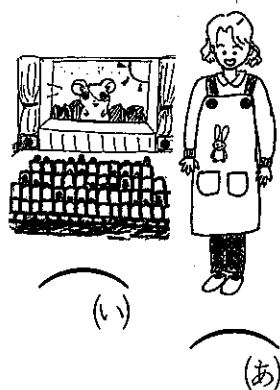
(ちゅうい)

① かんじやカタカナは ぜったいに つかってはいけません。
ぜんぶ ひらがなでかきましょう。

② ながいおとをあらわすとき「びーる」のように「ー」をつか
っても いけません。 ひらがなで ひらがなのやくそく
にしたがって かきましょう。

③ わからない えのことばは せんせいに ききましょう。

(1) はは の 日^ひに わたくしは



(あ)

() さんに はなと

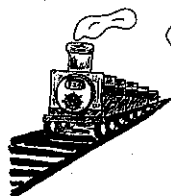
() の けんを あげました。



(う)

() は

(え) よりはやい。



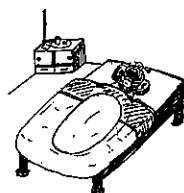
(え)

(3) わたくしの



(お)

() が



(か)

() になりました。

(4)



(き)

()

のそばで

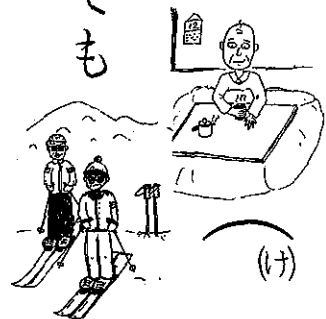
(く)

()

にあいました。

(5)

ぼくの



(け)

(こ)

()

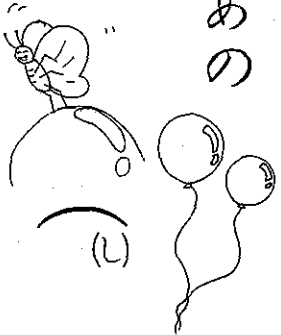
は

()

をします。

(6)

あの



(さ)

()

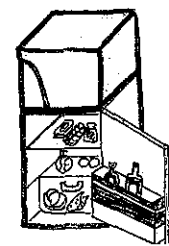
のうえに

がとまっています。

(し)

()

(7)



(す)

()

のうえに



(せ)

()

と



(そ)

()

が

おいてあります。

(8)

ぼくは



(た)

()

のしあいに

かったので みんなと



(ち)

()

した。

2

つぎに いろいろなぶんが かかれてあります。(この
なかに どんなことばをいれたら たいだいぶんになるで
しょう。
の なかから ことばを一つえらんで()
の なかに いれましょう。

が、も、を、に、の、で、と、から、へ

れんしゅう

(1) ぼくはおやつにみかん() たべました。

(2) そらにしろいくも() うかんでいます。

もんだい

(1) これは ぼく() 本です。

(2) ぼくはきのう おとうと() けんかをした。

(3) 日^{にち}よう日^びは あき() ばんまで いえで本^{ほん}をよんでいました。

(4) てるおくんは アメリカに 二年^{にねん}いたので えいご() わかります。

(5) まさおくんは なつやすみに 花火^{はなび}() やけどをした。

(6) よしこさんは その本^{ほん}を わたし() くれました。

(7) おとうとに らめつこをしていたが おとうとが
わらいだしたので ぼく() わらってしまった。

(8) よし子^こさんは赤^{あか}いけいと () セーターをきています。

(9) おとうさんはまい日^{にち} かみそり () ひげをそっています。

(10) うさぎはみみ () ながい。

(11) だれがこのはこ () つくったのですか。

(12) あしたみんなでハイキング () いきます。

(13) わたくしはまい日^{にち} テレビ () 見^みます。

(14) ぼくはあきみんなに「おはよう」 () いました。

(15) きのもも あめだった。きよう () あめだ。

(16) この本^{ほん} () おなじ本^{ほん} () ください。

(17) きゆうにそら () おおつづのあめ () ぶつてきた。

(18) せんせいがはなこ () その本^{ほん} () よませた。

(19) まさおくんは百^{ひゃく}メートル () 十五びよう () はしります。

(20) まさお () そのひも () はさみ () きった。

う。つぎのかんじのよみがなを（ ）のなかにかきましょ

(1)

大きな犬

(2)

学校のまえを左にまがる。

(3)

林の中

(4)

十七ページ

(5)

小さなねこ

(6)

ながい草

(7)

だれかが弟の頭をたたいた。

(8)

お寺の絵をかく。

(9)

自分でお米をつくる。

(10)

南のほうに雲がみえる。

4

つぎの □ の なかに かんじを かきましよう。
 かんじが 二つ つながっている ことば は ひとつでも
 かければ それを かきましよう。

(1)

あお
 い
 むし

(2)

ローソクの
 ひ

(3)

ちから
 もちの
 せん
 せい

(4)

おう
 さまの
 みみ

(5)

ろっ
 ぴきのねこ

(6)

えを
 み
 る。

(7)

あた
 しい
 ランドセル

(8)

なが
 い
 ひげ

(9)

きた
 の
 そら

(10)

げん
 きよく
 とも
 だちの
 いえ
 にいく。

(11)

おな
 じじを
 か
 く

(12)

よわ
 い
 ひかり

5

つぎのぶんのうちカタカナでかいたほうがよいとおもうことはあったらそのことばのみぎがわに~~~~~をひきましよう。そしてそのことばをカタカナでかきましよう。

(五)六ねんせいはそのことばをカタカナで解答用紙^{かいとうようし}のらんにかきだしましょう。

「やりかたのみほん」

ラジオ

ぼくは~~~~~らじおをもっています。

(1) ちゅうりつぷのはながさきました。

(2) かえるがわたるくんのたおるを

のぞきながらけろつけろつとないています。

(3) わたしはおとなになったらあめりかや
ふらんすにいきたいとおもいます。

(4) じてんしゃにのるときははんどるを
にぎります。

三つ四ねんのもんだい

6

つぎの漢字かんじのよみがなを（ ）のなかにかきましよう。
じゆくごはひとつでもよみかたがわかればそれをかきましよう。

(1) きみの代わり（ ）に仕事（ ）をする。

(2) あした旅行（ ）にでかける予定（ ）です。

(3) 鼻（ ）で息（ ）をする。

(4) 港（ ）のちかくの道路（ ）をさんぽした。

(5) 牧場（ ）の風景（ ）はすばらしい。

(6) 腸（ ）がよわくては健康（ ）ではありません。

(7) かいぎの記録（ ）をとらせた。

(8) 希望（ ）の旗（ ）をたかくかかげよう。

(9) あのひとはぜんぜん反省（ ）していません。

7

つぎの□のなかに漢字を書きましょう。
じゆくごはひとつでもかければそれをかきましょう。

(1) ミカンの

み

(2) のスプーン

ぎん

(3) これは はるをうたった

うつく

しい
です。

し

(4) この は

こう えん

しょう わ さん じゅう ねん

にできた。

(5) ぼくは でうまれた。

きゅう しゅう

(6) ここは すべるから しましう。

ちゅう い

(7) の (8) せが い人

いち おく

に ばい

ひく

(9) だれに をお いしましうか。

し かい

ねが

(10) たいは いかわをわたった。

へい

あさ

(11) あの は がよわいので

だい じん

い

あまり きません。

はたら

文ぶんのなかで「何なにが(は)」「だれが(は)」をあらわすコトバを「主語しゅご」といい「どうする」「どんなだ」「何なんだ」をあらわすコトバを「述語じゅつご」といいます。 つぎの文ぶんのうち主語しゅご、述語じゅつごはどれでしょう。 文ぶんの主語しゅごを でかこみ 述語じゅつごの右みぎがわに~~~~~を書きましよう。 主語しゅごがない文ぶんもありますからよく考えてやってください。

(1) きょうはぼくたちは海うみで およぎます。

(2) 一ぴきのみつばちが 花畑はなばたけで みつを

すっています。

(3) チンパンジーはこんちゅうのなかでも

シロアリがだいすきです。

(4) ああ おもしろい。

(5) まさこさんはこの学がく園えんの生せい徒とです。

つぎの文をよく読んで文のなかのコソアドのコトバ（これ、それ、ここ、そこ等）が何をさしているのかを考え、そのこたえを（ ）のなかにかきましよう。

(1) 土手を登るとおなじクラスの ミキちゃんの いえのうらに 出ました。ここに おおきな つばきの木があります。

ここ 〓

(2) 道の ひだりの 土手の下には 一メートルほどの みぞがあります。水は ちよろちよろ しか 流れていません。橋は 向こうの方に あります。タモツは それを ひよいと とびこえて そのまま 土手を登りました。

それ 〓

(3) この カブトガニは じつのところ おおきな ひみつを もっています。それは カブトガニは 二おく年もの 昔から ほとんど 形をかえることなく 生きつづけた 動物だということです。

それ 〓

(4) 松の枝に まつかさが ついています。まつかさは 松のみです。そのなかには おおきな はねをつけた 種が たくさん います。

その 〓

(5) わたしは ひょうたん池で よく遊びました。ひょうたん池は こんぴら池の 向こうにあります。そこには おおきな 鯉が います。

そこ 〓

10

つぎの漢字かんじのよみがなを（ ）のなかにかきましょう。
じゆくごはひとつでもよみかたがわかればそれをかきましょう。

(1) 貿易 でのものが豊富になった。

(2) 多額の金銭がその事件のためにつかわれた。

(3) 文句やいけんをか条がきにしてだすことを

許します。

(4) ぜいきんを納めることは憲法できめられています。

(5) わたしは郷土の遺跡をしらべむかしの人ひとの

せいかつ生活を推測した。

(6) このごろのわかい人は宗教のことをわすれています。

(7) ともだちを訪ねたらへやがたいへん乱れていたのでびっくりした。

(8) この時計とけいはいまでも正ただしく時ときを刻む。

(9) そのニュースにみんな興奮した。

II

つぎの□のなかに漢字をかきましょう。
じゆくごはひとつでもかければそれをかきましょう。

(1) パーティーの

(2) おおきさを

--

べる。

(3)

--

うことなくじぶんのきもちをすなおに

まよ

しめ

すことに

--

です。

げん

いん

(4)

びょうきの

ふたた

やぶ

(5)

--

びやくそくを

えい

きゆう

った。

(6)

にわすれられない人。

う

ちゆう

かん

たん

(7)

ロケットで

をとぶのは

です。

(8)

--

のしたでアリが

をはこんでいる。

まど

き

とう

(9)

トムはじぶんのあやまちをすぐに

--

めた。

みと

(10)

わたしのおかしな

--

をみてみんなが

--

った。

すがた

わら

(11)

この

をだれがつくったか

--

れました。

はい

く

わす

つなぎのコトバは二つの文をつなぐ役割をはたしています。がつなぎのコトバをまちがってつかうとうまく意味が通じません。

つぎの文には つなぎのコトバが四つ かかれてあります。そのうち三つは意味が正しく通じますが 一つのつなぎのコトバはそれをつかうと意味が通じません。 どのつなぎのコトバをつかうと意味が通じなくて 変な文になるのか そのつなぎのコトバに×をつけましょう。

(五) 六年生はそのつなぎのことばの番号を 解答用紙にかきましょう。

(1) わたしはがんばって走りぬいた。

(1) それで
(3) そして

(2) しかし
(4) すると

三位になった。

(2) 台風が近づいてきた。

(1) それで
(3) そして

(2) だから
(4) それで

雨がはげしくなった。

(3) 浦島太郎は玉手箱をあけた。

(1) すると
(3) しかし

(2) そうしたら
(4) それで

なかから白い煙が
もくもくでてきた。

(4) まっすぐうちにかえろうか。

(1) あるいは
(3) または

(2) それから
(4) それとも

図書館によつていこうか。

(5) 良子さんがわたしに電話をかけてきた。

(1) そこで
(3) だけど

(2) だから
(4) そして

正子さんが入院した
ことをつけた。

次の文の「一郎」^{いちろう}「まさ子」^こというコトバを「せんせい」というコトバに変えた時^{とき}のなかの^{けいご}コトバをどう変えた^{そんけい}らよいでしょう。敬語を用いてせんせいにたいする尊敬した表現を（ ）のなかにかきましょう。 のなかの^{もち}コトバはせんぶ（ ）のなかにかきかえましょう。

(1) 一郎^{いちろう}はきよう^{もうちよう}盲腸のため病院^{びやういん}に入院^{にゆういん}した。

(2) その部屋^{へや}に一郎^{いちろう}がいた。

(3) ぼくはまさ子^こから手紙^{てがみ}をもらった。

(4) まさ子^こが部屋^{へや}で待^まっている。

(5) そこでぼくは一郎^{いちろう}に会^あった。